

令和3年度 日本財団助成事業

訪問看護師向け在宅看取り初任者研修モデル事業 報告書

令和4(2022)年3月

公益財団法人 日本訪問看護財団

令和3年度 日本財団助成事業
訪問看護師向け在宅看取り初任者研修モデル事業

目 次

第1章 事業の概要	1
第1節 背景と目的	1
第2節 事業全体の構成	2
第2章 初任者研修モデル事業	3
第1節 委員会の実施	3
1. 検討委員会	3
2. ワーキング委員会	4
第2節 訪問看護師向け在宅看取り教育プログラム作成の流れ	6
第3節 プログラムの構成	9
1. グラフィックシラバス	9
2. 講義の構成および講師・校閲者	10
3. 演習プログラム	12
4. 研修の実際	13
5. ファシリテーター一覧	14
第4節 事業参加者の選定条件とリクルート方法	15
1. 初任者研修モデル事業参加者の選定条件	15
2. 募集方法	15
第5節 調査・分析方法	16
1. 調査の流れ	16
2. 調査内容	18
1) 事業参加者の属性および研修効果	18
2) 講義・演習の内容および方法の評価	19
3. 分析方法	20
4. 倫理的配慮	20
第6節 結果	21
1. 1回目調査の結果	21
1) 事業参加者の属性・参加動機	21
2) 教育・研修経験	35
3) 在宅看取りケア件数	37
4) 在宅看取りケアへの態度	39
5) 在宅看取りケアの知識	67
2. 2回目調査の結果	70
1) 11月研修前後の比較	70

2) 2回目調査の群間比較	76
3. 3回目調査の結果	81
1) 11月研修前と1月研修直前の比較	81
2) 3回目調査の群間比較	82
4. 1～3回目調査結果のまとめ	83
1) 在宅看取りケア件数（訪問看護での臨死期のケア）の推移	83
2) 在宅看取りケアへの態度に関する点数の推移	84
3) 在宅看取りケアの知識点数の推移	90
5. 事業参加者（Group A）による講義・演習の内容および方法の評価	91
1) 研修全体の評価・感想	91
2) 各講義の評価	99
3) 演習の評価・感想	102
6. 講師による講義・演習の内容および方法の評価（11月研修）	106
1) プログラムの構成・全体の印象	106
2) 講義資料	106
3) 演習	106
4) 運営面の改善点	107
5) 感想	107
第3章 まとめと考察	108
第1節 初任者研修モデル事業全体の評価	108
1. プログラムの構成	108
2. 在宅看取りケア件数	108
3. 在宅看取りケアへの態度	108
第2節 講義・演習の方法	110
1. 講義方法	110
2. 演習方法	110
第3節 今後の課題	111
1. プログラム構成（講義の順番）の再検討	111
2. オンライン研修をスムーズに進める工夫	111
3. 知識テストの修正	111
4. インタラクティブな研修・交流の場の検討	111
5. フォローアップ研修の検討	111
6. 指導者の役割の明確化	112
参考文献	113